

取替用フロートゴム玉 (小) TF-10R-S

注意

- この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。

※交換部品を正しく取り付けるために、下記をよくお読みください。

取付前の確認

フロートゴム玉には、大玉と小玉の2種類があります。
本品は小玉の取替用フロートゴム玉です。
本品が現在ご使用のゴム玉と合っているか、下記を参照して確認してください。

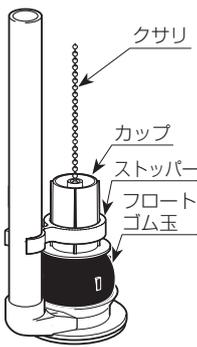
小玉 (φ 55mm)

カップ無しの場合
ゴム玉を引き上げて上から見るとフロートゴム玉が、ストッパーからはみ出していない

フロートゴム玉がはみ出していない
ストッパー



カップ付の場合



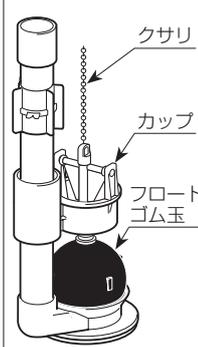
大玉 (φ 65mm)

カップ無しの場合
ゴム玉を引き上げて上から見るとフロートゴム玉が、ストッパーからはみ出している

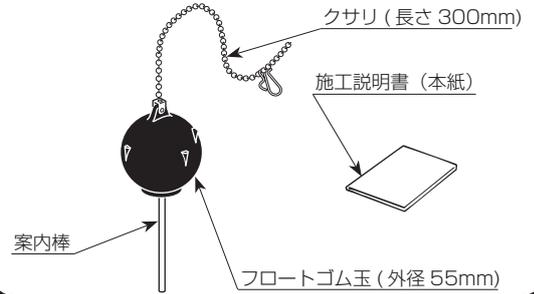
フロートゴム玉がはみ出している
ストッパー



カップ付の場合



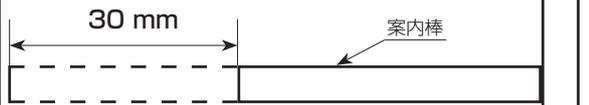
部品の確認



案内棒カット型紙

既設のフロートゴム玉におもりが付いている場合、この型紙を用いて、案内棒を30mmカットしてください。

※ おもりが付いていない場合は、この作業を行わないでください。



TF-10R-S
本品で取り替えます。

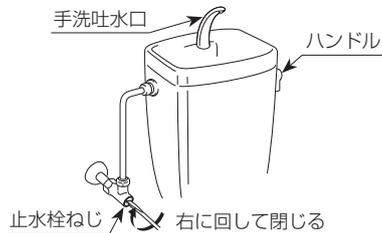
本品では取替えできません。
TF-10R-Lをお求めください。

施工方法

① 古いフロートゴム玉の取外し

(1) 止水栓は適切な水量に調整されており、作業後に元に戻す必要があります。そのため、止水栓ねじの最初の位置および何回転させたかを覚えておいてください。

止水栓をマイナスドライバーで右に回して、給水を止めます。



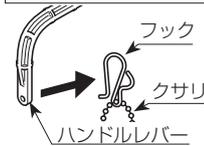
(2) ハンドルを回して、タンク内の水を抜きます。
手洗吐水口から水が出ないことを確認してください。

(3) タンクフタを持ち上げて外し、安定した場所に置きます。

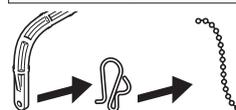
※ タンクフタ内側の手洗接続管(白)がねじやクリップで接続されている場合は、外してください。

(4) ハンドルレバーからフックをクサリごと外します。
カップ付の場合、フックとクサリも外します。

カップ無しの場合



カップ付の場合



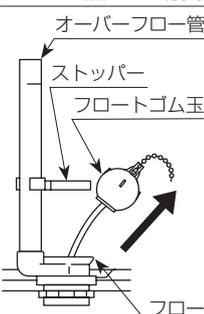
(5) 古いフロートゴム玉を、フロート弁座とストッパーの間から抜き取ります。

カップ付の場合、カップをストッパーまで持ち上げたまま、抜き取ってください。

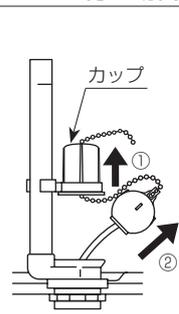
【注意1】(裏面)を参照ください。

節水ドラムが付いている場合、【注意2】(裏面)を参照ください。

カップ無しの場合



カップ付の場合



【フロートゴム玉におもりが付いている場合】

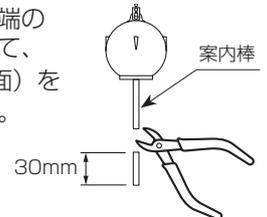
既設のフロートゴム玉に金属のおもりが付いている場合は、取付前に下記の2点を行ってください。

(1) 新しいフロートゴム玉の案内棒を、ニッパーで先端から30mmカットします。

施工説明書上側の「案内棒カット型紙」を参照してください。

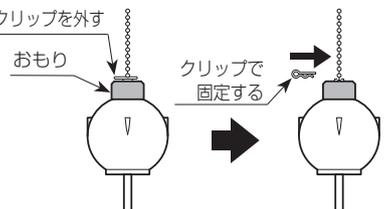
※ 案内棒の長さが合っていないと、止水不良の原因になります。

カットした先端の仕上げについて、【注意3】(裏面)を参照ください。



(2) 既設のおもりを、新しいフロートゴム玉に付け替えます。

既設のフロートゴム玉 新しいフロートゴム玉



施工方法

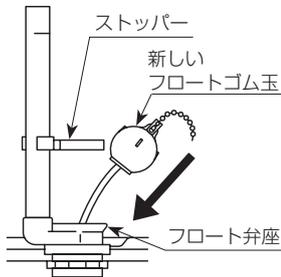
② 新しいフロートゴム玉の取付け

カップ無しの場合

(1) 新しいフロートゴム玉を、フロート弁座とストッパーの間に差し込みます。

フロートゴム玉の取り扱いについて、**【注意4】**を参照ください。

節水ドラムが付いていた場合、**【注意2】**を参照ください。



(2) フロートゴム玉のフックをハンドルレバーに取り付けます。

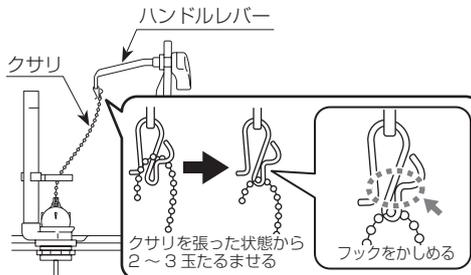
※フックを奥まで取り付けないと、洗浄不良の原因になります。

クサリが張った状態から2～3玉分たるませた状態にクサリの長さを調節します。

※たるませないと、止水不良の原因になります。

(3) クサリを取り付けた後、下図の印部にすき間がなく、クサリが抜けにくいことを確認してください。

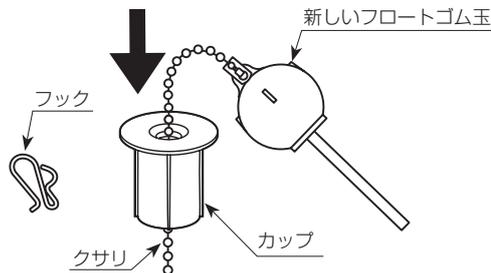
※クサリが抜けると、止水不良の原因になります。



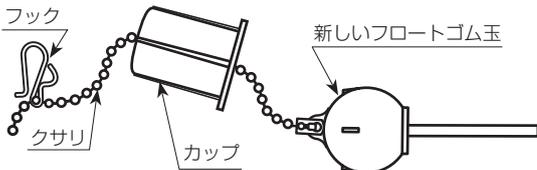
(4) タンクフタを取り付け、止水栓を最初の位置まで開けます。

カップ付の場合

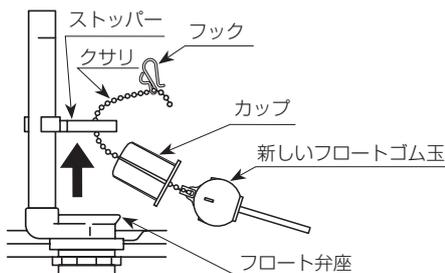
(1) フックをクサリから外し、カップの底からクサリを通します。



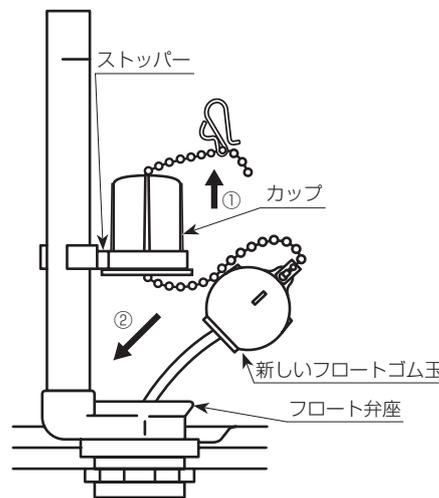
(2) カップに通したクサリの先にフックを取り付けます。フックの位置は(5)にて調整します。



(3) クサリ、カップの順にストッパーの下からはめこみます。



(4) カップをストッパーまで持ち上げたまま、新しいフロートゴム玉をフロート弁座とストッパーの間に差し込みます。フロートゴム玉の取り扱いについて、**【注意4】**を参照ください。



(5) **【カップ無しの場合】**の(2)～(4)と同じ施工を行いません。

③ 取付後の確認

洗浄ハンドルを大・小洗浄とも2～3度操作して正常に作動するか、水漏れしないか確認します。

【注意1】

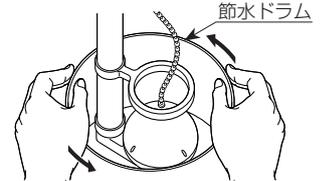
ストッパーおよびオーバーフロー管に強い力を加えないよう注意してください。

※ストッパーおよびオーバーフロー管が折れるなど、破損の原因になります。

【注意2】

お使いのタンクのシリーズや年代によって、フロート弁座部の周りに節水ドラムが付いている場合があります。この場合はフロートゴム玉を抜く前に節水ドラムを取り外します。

① 節水ドラム上部のフチを両手で持ち、反時計方向に1cmほど回すと、嵌合しているフロート弁座部のツメから外れます。(固着などにより固くなっている場合があります。)



② 嵌合部を外したら、上方向に抜き取ります。

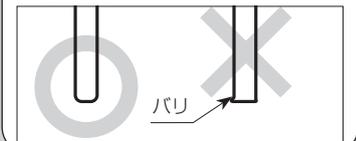
※以前のものにはフロート弁座部との固定方法がねじ式のために、反時計回りに数回転させなければ外れないものがあります。

節水ドラムの取り付けは、フロートゴム玉を取り付けた後、①②の作業を逆に行います。

【注意3】

●カットした案内棒の先端は、バリの無いよう紙ヤスリなどで仕上げてください。

●カットしたとき、破片が飛ぶことがありますので、注意してください。



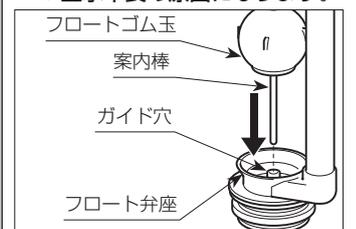
【注意4】

●フロートゴム玉を傷つけないようにしてください。

※止水不良の原因になります。

●フロートゴム玉の案内棒をフロート弁座のガイド穴に確実に差し込んでください。

※止水不良の原因になります。



●フロート弁座が水アカなどで汚れている場合は、柔らかい布などでふき取ってください。